

さ ざ ん か

第 112 号、2011 年 3 月

春になりました。人それぞれ、何回目の春になるのでしょうか。今年の春は悲しみと絶望に満ちた春になってしまいました。千年のスパンで見ると想定内の、しかし、100 年の時間で見ると想定外の大地震と大津波が東北、関東地方を襲いました。

街そのものが消失するという考えられない災害と、将来に長く尾を引きそうな原子力発電所の事故による放射能被害。

関東大震災。米軍の空襲により日本中の大都市が焼け野が原となった先の戦争。これらを振り返ると、いつの日にか東北地方が復興するのも確かなことではあるのですが、問題はそれまでにどれほどの努力と犠牲を払わなければならないかということでしょう。

明日の幸せよりも、今日の生活が求められる現状で、我々に出来ることは何かと考えた時、もちろん励ましのエールを送ったり、共感することも大切ですが、現実的に一番大切なことは、経済的支援ではないでしょうか。一回きりの支援だけでなく、毎月定期的に少額でも寄付を続けることが大事だということのようです。職場でまとめて寄付したから、一度街頭で寄付したから、という人も粘り強く個人で少額でも寄付を続けて見たらいかがでしょうか。

下手に萎縮をせずに、残っている人が元気に消費することが日本経済のためになる、と言う人もいますし、その通りでしょうが、まずその元気な消費の一部を継続して寄付するということが大切だと思うのです。最初はともかく、人のことはどうしても他人ごととして風化していきます。風化の代償としての寄付は、まあ、個人にとって免罪符にもなるのではないのでしょうか。

俳句

西屋敷喜美子

ぼたん雪 二十四度の 部屋で観る

若人の 県下駅伝 春の音

狭き庭 心やすらぐ 梅の花

病院からのお知らせ

* インフルエンザの季節は終わりましたが、肺炎ワクチンの予防接種も行っております。ご希望の方は各科外来に申し出てください。予約制になっております。

* 亜急性期病床は 20 床分準備してあります。リハビリテーション中心で少し入院期間が長くなりそうな方向けの病室です。ぜひご利用ください。

なお、ご参考までに、当院の一般の方の平均在院日数は 20 日前後です。

* 大分暖かくなってきましたが油断大敵、感染予防のため、訪問される方はマスク着用をお願いいたします。

* 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。

骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。

骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。

* MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながるからです。また、脳動脈瘤（くも膜下出血の原因となる）の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。

無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。

* MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。

* 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。近年乳がんが増加傾向です。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

* 肝臓病、糖尿病、脳神経外科、難病などの特殊外来は診察日が決まっておりますので、あらかじめご了承ください。

後期高齢者 別府政隆、

最近良く、耳にする言葉がある。後期高齢者である。先ごろ新聞、テレビで色々取沙汰されていますが、何の違和感もない、当然の言葉だと思います。年を重ねていき、誰もが避けて通れない道ではなかろうか。後期高齢者の私達にも、大なり、小なり、何かの思いがあるのではないだろうか。すでに、この年齢になると、こういう言葉に神経を使う前に、身体の健康に気をつけたいと思うのである。

近頃、認知症という言葉をよく耳にします。床の中で、ひよっとしたら自分もと云う不安が頭をよぎります。皆さん方には、そういうことはないだろうか。例えば、畑に野菜を取り入れに行き、何か忘れものをして取りに帰ってから、他のことをやっていると、今何を取りに来たのか思い出せないことはないだろうか。また、スーパー等で顔見知りの人を見かけ、声をかけても相手の名前を思い出せないこと、そんな時、おはん、だいけな？と聞くのも恥ずかしいと思いつつながら、おはん、だいけな、と言うと笑いながら、おいじゃらお、と言われ恥ずかしいやら嬉しいやら、昔話に花が咲きます。

最近、年に二、三回もの忘れするほど、これも認知症の始まりではないかと思う今日この頃です。後期高齢者になると、誰もが一度は通って来られた道ではないかと思えます。友人に話すと、笑いながら年を重ねる勲章よと云い、そうだと思います。友人の言葉を聞き安心した。残された人生をお互い悔いのないよう明るくくらしたいものです。

若者を救おう

宮園辰夫

その講座の先生をしている女の人に聞いた。何でもないこと、というのは大学を出て花嫁修業中の女の子たちに、ごく日常的な作法をおしえる事、例えばお米のとぎ方、お米を洗いなさいというと、指一本立ててかき回す女の子、洗剤を入れて洗う子、信じられないことをする子。

さあ落しぶたして下さいと言うと、ガチャンと床に蓋を落としたりする子、受験戦争の落とし子で、親から塾に行かされ、猛勉強で、少しでも聞こえのよい学校に入ってくれなさいと、言われ続けてきたから米のとぎ方も知らない。出来合いの物がなんでもある時代だから、何一つ不便を感じない。学校を卒業すると少しでも金持ちで、そして公務員や、会社の息子さんなど、なるべく居心地の良いところへ嫁に行くことを考えている。たとえ、米のとぎ方を知らなくても、自分だけが良ければ良いのである。それが良く行かなかったら離婚すればよい。そして快適な暮らしのところに行けば良い。米のとぎ方や落し蓋をしらなければ、優しく教えてくれる人の所に行けば良い。

聞くは一時の恥、知らなきは一生の恥、そんなことどうでも良い。若い人がものを知らないのは、人に聞いたり、教わったりする必要を感じない、自分のことしか考えない。だから、床に蓋をガチャンとなる。そこで、年寄りの出番があるということだ。何でもないこと、日常生活の知恵、年寄りが先生役になり、どんどん進出する。これも大切なことと思う。これからは高齢化社会になって行く中で、若い人たちに知恵を与えることは自分達にも活性化につながる。

これからの年寄りには人生の大先輩だし、いろんな体験をしているのだから、できること

なら、二〇〇年位生きて、明治、大正、昭和、平成と生きて、あの頃の方は良い人がたくさんいた、女の方は綺麗で優しい人がたくさんいた、1なんて話すこともできるじゃないか。

昔のおはぎは美味しかったとか、シルクロードを旅したとか、「それはまだ前か」『長生きすることは芸のうち』という言葉もある。それだけに、存在価値があるんだ。素晴らしい文化でもある。私もこれからだ。ゲートボールに行ったり、グランドゴルフに行ったり、動いて、頭を使う程良いという。原田総師長さん頑張れ、看護師さん達もどこにいても頑張ってください。院長を補佐して。私も最近は頭の回転が少し鈍くなったようですが、頑張らなくちゃー。

早朝に散歩すれば吾を知る 鴉は前を おりて歩けり

小さな芽 抱いて眠る 冬木立

明子さん行方不明 本石明子

1月19日は父の命日でした。お参りに行こうと思っているところへ、弟がしるこを作った、と小鍋をかかえて来ました。ちょうど、欲しいな、病院でも缶詰でも求めようと考えていた矢先のことでしたので、喜んで頂戴。ついでに車に同乗して父母のお参りをすませ、すぐ帰るつもりで、電灯だけつけて行ったのですが、弟嫁が、正月だから餅でも、と引き留められ嫁の言葉に甘えて、夕食を御馳走になり、さて帰りましょうと立ち上がったところへ、甥の嫁から電話。

「あら、リカちゃん、どうしたの」「どうしたのどころではないのよ。おばちゃん。どこに居るの。みんな心配して集まって探しているのよ」とのこと。しまった。毎日夕方4時に食事の準備と掃除に来て下さるヘルパーさんのこと、すっかり忘却。ヘルパーさんから末弟へ連絡。電灯はついているけど、おばさんが居ないと、驚いた弟が用水池や墓所などを探し回り、ご近所の方々も心配して、消防でも依頼しようか、など思いがけない事になってしまった様です。

ヘルパーさんに一筆残しておくべきだったと後悔してもあとの祭り。「一人で何とか生きていける」と家族、親戚にも大きなことを言っていた私。超高齢の独居老人にはそれとなく目をかけ、見守って下さる皆様に感謝、感謝の一日でした。

老いしわれ さすらいの旅 果てしなく

後記：現在グループホームに入居。歌あり、笑いあり、のどかで穏やかな集団生活を送っ

ております。

十名で 十色のくらしに なれにけり
老いし人 看取る笑顔の さわやかさ

大震災にびびる

カラーマン（とその女）

震災発生からかなりの時間がたったが、いまだに被害の全容が明らかになっていない。建物や道路の被害という話でなく、亡くなった人の数がいまだにおおざっぱなのである。数えきれないほど多い、ということだけでなく、数えるべきものが分からないのだ。誰が居なくなっただかが分からない。部落ごと消失してしまえばそういうことになるのだろう。想像すらしなかった事態である。何もかも一斉に木端微塵にしてしまった津波の凄まじさであった。

（スマトラ沖の時の津波も映像で見た記憶があるけれど、遠い地のことで興味半分で、これはすごいわあ、と思ったくらいなものね。明治時代の三陸の大津波も情報がすくないからピンこなかったし。いまは映像の時代だから、口伝えでなく確実に次の世代には被害のありさまは残っていくのでしょうね。）

原子力発電所による放射線被害も、結局、地震よりも津波の影響の方が大きかったのであらう。長期的には地震そのものよりも原発事故の方が、ずっと尾を引く可能性がありそうだ。

いまこの時点で大震災について語るのは早すぎるので、ニッポン人について考えて見たい。どこが悪かったとか、誰の対応が間違っていたとか、災害計画が甘かったとか、想定の設定がなってなかったとか、これからいろいろと議論が湧きあがることであらう。

（たくさん問題点があがってくると思うけど正しい評価をして正しい指針をだしてほしいわね。阪神大震災の時のように、自衛隊の出動の遅れはなかったようだし。自衛隊は本当に頼りになるとおもったわ。国民を守るという意味では、国防も災害対策も同じことだと思えば、早く国民から堂々と承認される組織になるようになってほしいわね。社民党の人は反対するでしょうけど）

元総理大臣が読めなかった言葉「未曾有」の大災害であったにも関わらず、日本人の冷静な対応が世界から賞賛されているようだ。パニックが起こったり、あちこちで略奪がおこったりしないことに対する賞賛だと思うのだ。

こういう話を聞くと、何となく日本民族を誇りに思ったりもするのだが、どうも最近の

ニュースを聞くと必ずしもそうでない面も見え隠れしてきた。

義援金詐欺だとか、災害地での金庫泥棒だとか、念のためと称したトイレトペーパーやおむつの買いだめとか、電池の買いだめとか利己的な人間も結構いるようだ。たぶん、こういう人たちは一部の日本人で大部分の日本人は、世界の賞賛に値する人たちだと信じてはいるが、こういうニュースは不愉快にもなるし悲しくもなる。

(でも、ごく少数だと思うわよ。一部の低俗なマスコミが伝えているだけじゃないかしら。外国での混乱は移民の人たちが多いからとも言うしね。あ、これは偏見になるのかしら)

狭いけど、自然豊かな日本列島で外国人に実質占領されることなく 2 千年以上住み続け来た日本民族が失われることはない。失われた 20 年という最近のデフレ不況も、公共事業の復活によりまた克服される可能性もあるようだし、「未曾有」の困難を「未曾有」の復興に変えることは可能であると信じたい。

(自然と共に暮らし、自然の中でのものあはれと人の世のはかなさを感じてきた日本人を見つめなおすことができた今回の震災だったわね。私たちに何ができるのか、何をしてはいけないのか、ゆっくり考えて見たいものだわね。)

編集後記

やはり震災の影響を大きく、ニュースを見るたびに、遠く離れて九州に居てもどこか心が晴れない感じの日々が続いています。不況で職がない、などというレベルをいきなり突き抜けて、家がない、車がない、財産がない、家族が居ない、という信じられない悲惨な状況が現実には起こっているのです。こういう時こそ政治に期待したいところです。瀕死の民主党政権にとっては国民の信頼と取り戻す絶好のチャンスですので、国民のために存在するはずの政治家の真価を発揮してほしいと切に願うものです。震災に関してほとんど政治家の活動が報じられないのは、なぜでしょうか。

話題が震災のことに偏るのは仕方のないことですが、それはおいておいて春になりましたね。桜もぼちぼちと咲き始めているようです。病気になって初めて健康の有難さを分かったりするように、多くの人々の命が多数失われてまた改めていま生きていることの幸せを感じたりもします。みなさん、一日一日、元気に頑張ってください。